資料２

（仮称）利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会

開　催　背　景

令和７年３月２７日（木）

協議会の目的

生物多様性の保全・創出

～ネイチャーポジティブの実現～

コウノトリ

地域の希少生物（オオセッカ・コジュリン、ヒヌマイトトンボ、ヤマトシジミなど）やコウノトリが生息等する河川及び周辺地域の水辺環境の保全・創出を推進

川尻・矢田部地区（神栖市）

ヒヌマイトトンボ

東庄Ⅱ地区（東庄町）

地域振興と経済活性化

自然環境の保全を通じて地域の魅力を高め、経済活動を活性化する方策を模索

エコロジカル・ネットワークの形成

広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークを構築し、地域づくりを実現

出典：生態系ネットワーク形成基本計画（令和4年3月）
関東エコロジカルネットワーク推進協議会

背　景

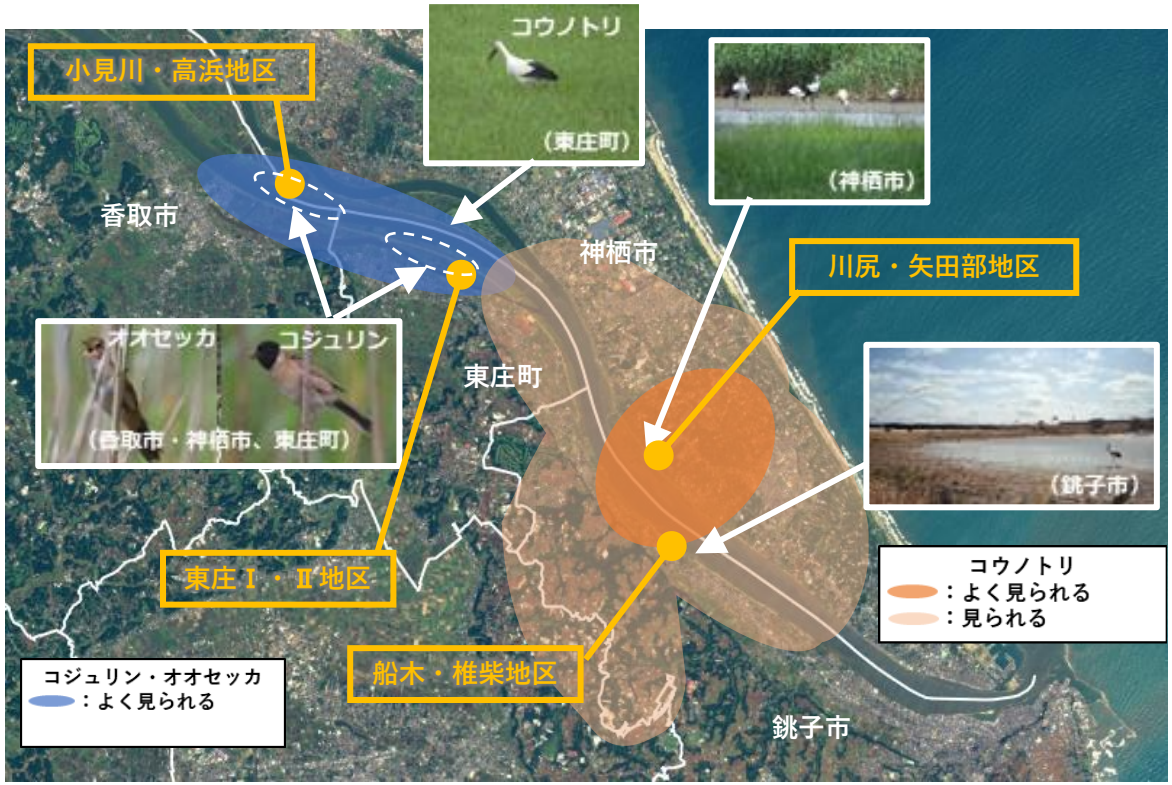
自然環境の改善

外来種の侵入やヨシ原の消失が進行しており、2013年（H25年）から再生に向けた取り組みが始まった

取組の成果

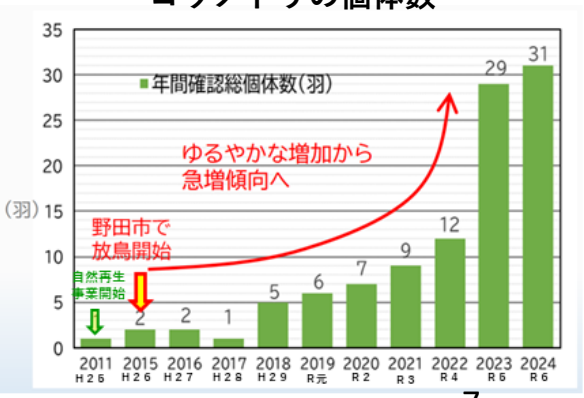
多くの支川やため池等の湿地・水際環境の保全・創出により、コジュリン・オオセッカ、ヒヌマイトトンボ、ヤマトシジミなど貴重な生物の生息が維持されコウノトリの定着と繁殖が確認されている

コウノトリの飛来状況



神栖波崎地先の掘り下げ田

コウノトリの個体数



次世代への継承

中学生による環境・体験学習を通じて、自然環境の重要性を次世代に伝える取り組みが行われている

地域振興の期待

自然環境の再生が地域の魅力向上に寄与し、観光や地域振興にもつながることが期待される

屏風ヶ浦（銚子市）

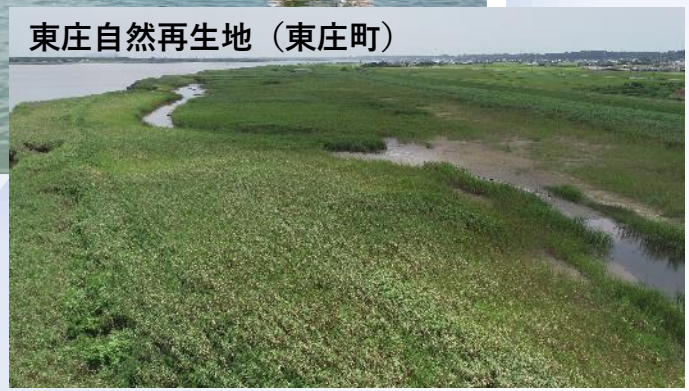
香取神宮（香取市）

山本家住宅（神栖市）

船木・椎柴自然再生地（銚子市）

人工巣塔（神栖市）

東庄自然再生地（東庄町）



参考：地域連携イメージ

利根川堤防及びその周辺整備を行うことにより、環境資源（自然再生地）や各自治体における観光資源とのネットワーク化を図る。

治水と自然環境の共生

洪水時の水位低下を図るための河道掘削・浚渫と自然環境との共生は重要課題である

参考）
関東域のエコロジカルネットワーク推進の取組

コウノトリ・トキが舞う魅力的な地域を目指した
エコロジカルネットワークの推進に参画していく

関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会
（事務局：関東地方整備局）

各エリアの自然・社会条件に応じて、エリア内の各主体が連携・共同して取り組むことが基本

（仮称）利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会
事務局：利根川下流河川事務所

具体的な活動事例

情報共有と施策提案

自治体間での情報共有や施策の提案を行い、地域関係者との連携を強化

地域イベントの開催

自然環境の重要性を広めるためのイベントやワークショップを定期的に開催

モニタリングと評価

生物多様性や環境の変化をモニタリングし、取り組みの効果を評価する仕組みを構築

今後の展望

協議会の活動を通じて、利根川下流域の自然環境の保全と地域振興を両立させ、持続可能な地域づくりを実現する

アクションプラン
の具体的な内容
（イメージ）

継続的な取組（イメージ）

環境学習

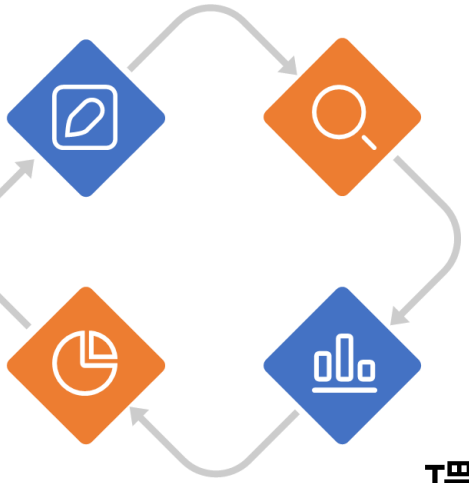
目的：地域住民や学生に自然環境の重要性を理解してもらう

内容：・定期的なワークショップや講座を開催（例：生物多様性、湿地の役割）
・地元の専門家や大学と連携し、講師を招く。
・学校との連携プログラムを構築し、カリキュラムに組み込む

情報共有

目的：エコネットや地域振興に関する情報共有と意見交換の場を提供

内容：・年に1回、体験学習に参加した中学生や専門家や関係者を招いたシンポジウムを開催
・参加者からのフィードバックを次回の改善に活かす



体験学習

目的：実際の自然環境での体験を通じて、環境保護の意識を高める

内容：・自然観察会や保全活動を定期的に実施。
・小学生や中学生を対象にしフィールドワークを企画。
・地域の自然資源を活用した体験プログラム（例：ヨシ原の観察とヨシの活用）

環境の見える化

目的：ネイチャーポジティブの取り組みや成果を情報発信する

内容：・自然再生による効果や市民の活動成果をグラフや映像等で可視化し、広報資料を作成
・関係機関のWEBサイトやSNSを活用

連携の強化（イメージ）

01

市民参加

目的: 地域住民の意識向上と参加促進。

内容:体験学習のサポートや環境保全活動への参加

02

企業参画

目的: 企業と連携し、持続可能な地域づくりを推進。

内容:ＣＳＲ活動やパートナーシップの構築

03

地域ブランド化

目的: 地域の魅力を活かしたブランドを確立し、観光資源として活用。

内容:地域の自然や文化をテーマにした商品開発